

# 新議会構成決まる

伯耆町議会は5月12日、改選後、初となる臨時議会を開き、議長に長谷川盟議員、副議長に入江正美議員を選出しました。

また、常任、議会運営、議会広報の各委員会委員なども選任し、顔ぶれも新たな組織構成でスタートしました。

信頼される

議会運営を



議長  
長谷川 盟

議長就任にあたり、一言「ごあいさつを申し上げます。

去る、五月十二日の臨時議会において、議長に選出されました。身に余る光栄と同時に、重責に身の引き締まる気持ちでいっぱいでございます。

合併後、四年が経過した今日では、新しい伯耆町としての基盤もほぼ出来上がり、これからは「活力と潤いのある伯耆町、住んでよかつた伯耆町」をつくりあげるために、本町のどのような特徴を生かして、どのような方向でつくり上げるの

かが、最大の課題になると考えております。

しかし、現実には厳しい財政運営の中で進めなければなりません。また、町民のみなさまの声を真摯に受け止め、反映させなければなりません。

議会の責任の重大さを再度、肝に銘じているところでございます。

町民のみなさまから信頼される議会運営を目指して、一生懸命頑張る覚悟でございます。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

## 第3期伯耆町議会議員



(前列右側より) 野坂 明典、細岡 栄、入江 正美、森安町長、長谷川 盟、影山 辰雄、遠藤 俊寛、中岡 壽國、(後列右側より) 阿部 泰(職員)、幸本 元、篠原 天、小村 公洋、大森 英一、渡部 勇、幅田千富美、椎木 慈(職員)、勝部 俊徳



副議長 入江 正美

私たちの伯耆町は合併をして五年目を迎えました。

誰しも自分たちの住む町が、住みやすく、魅力のあるところであれば良いと思つていきます。

しかしながら、伯耆町も全国の中山間地域が抱えている問題をたくさん持っています。

少子高齢化・農地の荒廃・集落の維持など過疎化に対するこれらの問題をどう解決していくのか議会に与えられた使命は重大なものがあります。

私はこのたびの新たな議会構成により、副議長を務めることになりました。

私は自分の役割を十分に認識し、議長を補佐しながら円滑な議会運営を進めるのももちろんですが、町民の皆様の声を町政に反映させることに全力を尽くします。

総務経済  
常任委員会

今期から常任委員会が二つになり、総務経済常任委員会は、総務及び産業経済、土木に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を所管いたします。

付託された案件の内容をよく検討し詳細な審査が行われる委員会運営に努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



委員長 遠藤 俊寛

- 副委員長 勝部 俊徳
- 委員 入江 正美
- 同 中田 壽國
- 同 大森 英一
- 同 小村 公洋
- 同 幸本 元

教育民生  
常任委員会



委員長 細田 栄

私たちの委員会は、子育て支援や義務教育から生涯学習、生きがい対策と、皆様の暮らしを支える健康、福祉、介護、医療などの分野を担当する委員会です。

過疎化と少子高齢化が同時に進行する本町で、どのような施策を展開するか、専門的かつ継続的に取組んでまいりたいと考えております。

- 副委員長 篠原 天
- 委員 幅田千富美
- 同 野坂 明典
- 同 長谷川 盟
- 同 影山 辰雄
- 同 渡部 勇

議会運営委員会

経験年数も短く大役ですが、少数意見にも配慮した公平・公正で、円滑な議会運営ができますよう努力いたします。

住民の皆様への目に見える参加を期待しております。



委員長 影山 辰雄

- 副委員長 野坂 明典
- 委員 大森 英一
- 同 小村 公洋
- 同 幸本 元

議会広報調査  
特別委員会



委員長 大森 英一

住民と議会との意思の疎通を図り、相互信頼を培うため、重要な役割を果たしている町議会広報紙の紙面内容の充実に取り組めます。新しいメンバーで皆様のもとに取材にまいります。

- 副委員長 渡部 勇
- 委員 幅田千富美
- 同 幸本 元
- 同 勝部 俊徳
- 同 篠原 天

監査委員(議会選出)



議員 中田 壽國

南部町・伯耆町清掃  
施設管理組合議会

- 議員 中田 壽國
- 同 小村 公洋
- 同 影山 辰雄
- 同 遠藤 俊寛

鳥取県西部広域  
行政管理組合議会

- 議員 長谷川 盟

南部箕蚊屋  
広域連合議会

- 議員 入江 正美
- 同 細田 栄
- 同 幸本 元
- 同 勝部 俊徳

日野病院組合議会

- 議員 入江 正美

後期高齢者医療  
広域連合議会

- 議員 長谷川 盟